



# 泉丘SSHだより



第9号 H19.11.13

編集: SSH推進室

発行責任者: 鈴木庸雄

石川県立金沢泉丘高等学校

## コスモサイエンスII

【特別講義】 生命とは何か? —統合科学の展望—

講師 京都大学基礎物理学研究所  
准教授 村瀬雅俊先生



昨年度から実施している本校の卒業生である村瀬雅俊先生の特別講義が行われました。内容的には難しかったかも知れませんが、科学者として何が大切なのかを考えさせられた講義でした。

### 生徒感想

今回の村瀬先生の講義は、私にとって今まで持っていなかった物の見方や知識を多く得ることのできるものであった。

私が一番最初に驚いたのは、村瀬先生が薬学・医学・数学・物理学・英語などさまざまな学問を学んでいたことである。初め、なぜそんなにも学ぶことが必要なのか私には少し分からなかった。しかし、幅広い学問の知識を持つことで、新しい状況や学問に出会ったときに対応することができ、自分の持っている知識が多ければ多いほど新しい知識との関連性を見つけ、それを自分の能力として発揮することができるのだとわかった。これから、大学に進学し社会に出て行く私たちにとって、この考え方はとても重要だと思った。「何でこの科目を勉強するのか」「社会に出て役に立つのか」よく疑問に感じるのだが、きっと今学んでいることは無駄にならないと思う。幅広い知識を持つことは、広い視野を持つことであり、せまい視野では見つけることのできない答えや疑問を発見するためには大切なことなのだと思はる。私はこの講義を通して強く感じた。

また、村瀬先生の「科学者は自分の体験から学んだ正しい知識を人に伝え、理解してもらう責任を持っている」という言葉には共感した。現代の社会は、安全であるという前提を信じすぎて、自分たちで問題を生み出している。それを止めるのも正すのもやはり科学者であり、科学者が真実を見抜き、伝えなければいけないと思う。そのためにも、科学者は幅広い知識を持ち、1つのものをさまざまな観点から見つめることが必要なのだ。私も、そんな科学者になりたいと思う。

### 【戸室山・大桑層野外実習】

久しぶりのフィールドワークでした。地学を選択していない生徒にとっては地学に触れるよい機会となりました。また地学選択者は机上では学習できないことを多く学びとっていたようです。

- 地学を学習していないのでよくわからない所がいくつかあったが、実際に地層などを見ることにより視覚的に感じることでよかったです。
- 岩を砕いて岩の中に化石があるのか確かめたり、貝の層を見つけて化石を探したりと地学を感じられる機会があり良い経験になりました。
- 教科書で見ると実際見るのとは感覚が違うと思った。たとえば玄武岩の露頭は感動的だった。貝化石のもろさにはとても驚いた。
- 地面を調べることで、その土地の歴史が正確にわかることがわかった。
- 身近にある山や川の化石などの地学について知ることができたのでよかったですと思う。
- 化石の採集は化石がもろくて難しかった。
- 地学はその場へ行かないとわからないと思った。ある程度予想はつくかもしれないけれど、自然を扱うのは難しいと思った。身近に1000万年、100万年の世界に触れあえるのはすごいと思った。



# 特別講演会



講師の鎌田先生から、たくさんのメッセージと共に、言葉では言い切れない暖かい心もいただいたような気がします。先生から届いたメッセージを一人ひとりの心に刻み、これからの高校生活そして生きていく糧として心の中に生き続けていってほしいと思います。



演題 **生きているってすばらしい 一命の大切さを考える一**

講師 **諏訪中央病院 名誉院長 鎌田實先生**

## 生徒感想

私は鎌田さんの講演を聞いて、「人間は一人で生きてはいない。誰かに生かされている」という言葉が一番心に残った。中学生のときに私は毎日のように親に反抗していた。その理由は大したことではなく今ではあまり覚えていないが、無性に親の言ったことに腹を立てていたのを覚えている。そんな私に父が鎌田さんと同じようなことを言った。「お前は一人で生きているんじゃない。自分の思うように生きたいのなら、全部自分の力だけで生きろ」と。これは鎌田さんの「自由と責任」という言葉とも重なると思う。鎌田さんの講演を聞いて、私は父の言葉を思い出した。

また、今回のテーマ通りに、これからの自分の生き方について考えさせられた。そして、自分で考えた生きる上で大切なことが2つある。1つ目は何事にも挑戦していこうということだ。鎌田さんの言葉の中に「人生は一度きりだから失うものは無い」という言葉があった。その言葉を基に失敗を恐れずに挑戦する人生を送りたいという気持ちが生まれた。2つ目は他の人のことも考え、他の人のためにも生きていこうということだ。鎌田さんは共感力、想像力が大切だと言った。私はどちらかというと共感力を重要視している。人間はたくさんの人と関わりながら生きている。それなのに自分のためだけに生きていたら悲しすぎるのだと思う。自分以外の他の人がいるから生きていける。他の人と支えあって生きていける。そんな人生を私は送りたいと思っている。

最後に、この講演の中で私の「死」に対する価値観が変わった。私は「死」が恐ろしいものだとずっと思っていた。でも今は違う。人間は「死」があるから一生懸命生きていける。一度きりの人生だから人間は今を必死に生きている



## コスモサイエンス I 開講

今年度の『コスモサイエンス I』も、金沢大学工学部教授の田中一郎先生の講義で始まりました。初めての講義ということで緊張していた生徒たちですが、教授から質問が投げかけられる度に緊張も解け、真剣な表情で答えていました。田中先生が「おまけの話」で話されたことは今後の学習や研究に活かしていってほしいと思います。

「コスモサイエンス I」につきましては『コスモサイエンス I だより』を発行し、生徒の感想文等を掲載していきます。発行したたよりは年度末に冊子にまとめます。また、本校のホームページにも掲載しますのでご覧ください。



[第1回] 科学が生まれたころ  
金沢大学 田中一郎教授



[第2回] 人間社会を支える工学  
金沢大学工学部研修



[第3回] スターリングエンジン製作実習  
金沢工業大学 加藤聡教授



### おまけの話

一度信じてしまうと、もう後戻りできない  
教えられたことでも、自分で確かめないと  
自分の目で見て自分の頭で考える

## AIプロジェクト校内発表会

4月から進めてきた研究成果を発表する校内発表会を下記日程で開催します。

日時 平成19年11月19日(月) 13時~16時(5~7限目)

場所 大会議室

